

キャリアアップに資する教育訓練（説明用シート）

派遣業務内容	建築・土木・測量技術
派遣業務の 具体的内容	積算技術、資料作成、技術審査、公物（河川・道路）管理 補助、工事監督支援、特殊車両事務等

	入職時～1年目	2年目	3年目	4年目以降
(1)必要とされる 共通のキャリア パス（求める人 材要件）	他の業務員の指導のもと、簡 単な業務（補助的）を任せる ことができる。	・基礎的な専門的知識があ る。 ・指導者を必要とせず、一人 で簡単な業務を任せることが できる。	・専門的知識がある。 ・通常の業務は任せることが 出来る。 ・チームリーダーとして成長 できる。	・専門的知識も十分にあり、 複雑な業務を任せることが出 来る。 ・業務の指導が出来る。 ・派遣先の信頼が厚く、評価 が高い。
(2)(1)に必要なス キル、資質等	業務遂行基礎能力 パソコン（OA初級） 技術者倫理 土木基礎知識	パソコン（OA中級） 技術者倫理（継続） 土木技術獲得による業務遂行力	パソコン（OA中級） 技術者倫理（継続） 土木専門技術力による業務管理力	技術者倫理（継続） 一級土木施工管理技士補 業務指導力・労務管理・ マネジメント能力
(3)教育訓練内容 （上段：様式3 号－2具体的な 教育訓練、中 段：上段の内容 のわかる事項、 下段：訓練計画 時間）	① ビジネスマナー ・ビジネスマナーの重要性 ・ビジネスマナーの基本項目 ・実践するためのポイント （実践練習） 2時間	③ パソコン（OA中級） ・CAD基礎 （文字、罫線等の記入） ・積算システム基礎 （項目の選択、数量等の入力） 4時間	③ パソコン（OA中級） ・CAD応用（既存図面の編集） ・積算システム応用 （条件の選択、間接費の設定） 4時間	④ 技術者倫理研修 ・技術者の責任・要件 ・一流の技術者像 ・技術者の最終目標 3時間
	② パソコン（OA初級） ・Word基礎 （文字入力、様式設定等） ・Excel基礎 （データ入力、表作成等） 4時間	④ 技術者倫理研修 ・倫理と法律の補完関係 ・利害関係の相反 3時間	④ 技術者倫理研修 ・技術者倫理の規範事例と原則／ 義務 ・倫理規範 （違反事例・遵守事例） 3時間	⑤ 土木技術研修 ・先端技術（工法）の事例・解説 ・施工管理における重要な ポイント 4時間
	④ 技術者倫理研修 ・社会人としての心構え ・個人情報・機密情報取り扱い ・派遣就業に伴う基礎知識 3時間	⑤ 土木技術研修 ・図面作成時の留意事項・解説 ・数量計算書作成時の留意事項・ 解説 ・施工管理の留意事項・解説 4時間	⑤ 土木技術研修 ・工事監督支援業務実務研修 ・積算技術業務実務研修 ・公物管理業務実務研修 4時間	⑥ 一級土木施工管理技士補取得支援 ・過去問題の傾向と対策 ・過去問題の実践・解説 ・論文の作成 4時間
	⑤ 土木技術研修 ・土木用語の解説 ・土木構造物の機能・役割 ・土木工事の施工方法 2時間			⑦ 労務管理・マネジメント研修 ・リーダーシップと組織運営 ・人材育成と人事評価 ・労務・リスク管理 6時間
	①ビジネスマナーについて教育 訓練をすることにより、派遣先 で働く上での基本的なビジネス マナーを習得することができる。 ②パソコン（OA初級）を学ぶ ことにより、派遣先業務に必要 とされるパソコンの知識を習得 できる。 ④技術者倫理は派遣先業務（主 に公務関係）において極めて重 要であり、知識や価値観を高め ておくことは長期的に自身の価 値を高めることに繋がる。 ⑤土木技術（基礎）を学ぶこと により、業務に必要な専門 用語や基礎的な土木技術の習得 ができる。 その結果、派遣労働者として長 期就労に繋がる。	③パソコン（OA中級）を学ぶ ことにより、派遣先業務に應用 できるパソコン（アプリケーション）の 知識を習得できる。 ④技術者倫理は継続的に意識啓 発をしないと意識低下を招く。 新たな知識を吸収し価値観につ いて高い水準を維持することが 求められる。 ⑤土木技術（初級）を学ぶこと により、派遣先業務に必要な業 務の流れに関する知識の習得が できる。 その結果、業務の幅が広がり、 賃金アップにつながる。	③パソコン（OA中級）を学ぶ ことにより、派遣先業務に應用 できるパソコン（アプリケーション）の 知識を習得できる。※前年での 習得状況に応じたサポート ④技術者倫理は継続的に意識啓 発をしないと意識低下を招く。 新たな知識を吸収し価値観につ いて、長期的に高い水準を維持 することで派遣先での信頼を得 る。 ⑤土木技術（中級）を学ぶこと により、派遣先業務の円滑な遂 行に必要な技術の知識の習得が できる。 その結果、信頼度が増し、仕事 を任される。	④技術者倫理は継続的に意識啓 発をしないと意識低下を招く。 長期的に高い水準を維持するこ とで派遣先での信頼を得ると ともに後輩へのロールモデルとな る。 ⑤土木技術（上級）を学ぶこと により、業務全体の管理に必要 な技術の習得ができることと ともに、業務のマネジメントを高めるこ とができる。 ⑥「一級土木施工管理技士補」 の資格取得に必要な知識の習得 ができる。 ⑦労務管理・マネジメント研修によ り、業務全体の労務人事管理、 部下の健康管理や職場環境管理 を行うことができ、結果とし て、組織能力を高め、派遣先の 信頼を得ることができる。 その結果、必要に応じて、管理 職に登用する。